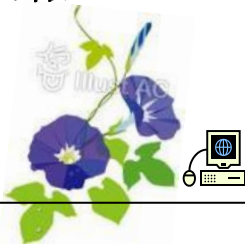




楽 楽



平成 26 年 8 月号

2014・8・9 発行

広報担当：植村

<http://www.asahikon.sakura.ne.jp>

◆練習スケジュール

月／日		会 場	時 間	備 考
8 月	9 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00	18:00～ 演奏会実行委員会反省会
	23 日（土）	〃	〃	18:00～ ヴォイトレ（全員対象）
	31 日（日）	〃	〃	
9 月	6 日（土）	〃	〃	
	13 日（土）	〃	〃	
	20 日（土）	瀬戸市文化センター	瀬戸合唱フェスティバルリハーサル	
	21 日（日）	第 30 回 瀬戸合唱フェスティバル（タイムテーブル参照の事）		
	27 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00	
10 月	4 日（土）	〃	〃	
	11 日（土）	〃	〃	
	18 日（土）	中央公民館 305 音楽室	〃	
	25 日（土）	旭丘公民館	〃	
11 月	1 日（土）	〃	〃	
	9 日（日）	〃	〃	
	15 日（土）	〃	〃	
	16 日（日）	第 33 回 尾張旭市民音楽祭（詳細は後日）		
	22 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00	
	29 日（土）	〃	〃	

7月20日

第9回演奏会 終了

日時：2014 年 7 月 20 日 14 時開演
会場：瀬戸市文化センター文化ホール

当日は猛暑だったにも関わらず 660 名の入場者がありました。夏の陽が降り注ぐ瀬戸のホールには熱い熱い拍手が鳴り響きました。





「平成 25 年度 旭混声合唱団総会」開催される

平成 26 年 8 月 2 日（土）、通常練習の後、本年度の総会が開催されました。

「平成 25 年度活動報告」では、4 回の合唱祭や音楽祭への参加をステップにして第 9 回演奏会成功に向けて、団が一丸となって取り組んだ年度であったことを振り返りました。委員長の波多野ユキさんを中心とした演奏会実行委員会の開催は 8 回に及びました。その間ご指導いただいた先生方や、委員の皆様のごたいへんご苦勞に、合瀬団長より感謝の言葉がありました。練習への出席率は例年どおり高く、特に演奏会前は 95 パーセントを超える出席率でした。25 年度もとても充実した練習であったことが確認されました。

大栗会計委員長による「平成 25 年度会計報告」は拍手で承認され、続いての、団の「平成 26 年度活動計画案」では、次に控えた団創立 30 周年記念演奏会に向け、新たな気持ちで取り組む年度であることが確認され、案は拍手で承認されました。

「役員改選」では、合瀬弘正団長、若杉佳代副団長の続投が承認され、技術委員長に新たに伊藤雅代さん、会計委員長に松本恵美子さんの就任が承認されました。今回の定期演奏会に向けて団員の技術力アップのため、たいへんご尽力いただいた前技術委員長の須田千賀子さんと、サブ技術委員長の波多野ユキさんのご苦勞をねぎらって、全団員から温かい拍手が送られました。

(S.植村)

コンサート情報

KIRA★CON

ハート・エンジェル
きら★きらコンサート 2014
トリオ de ブランチ
オーボエ : 山本直人
ピアノ : 石川ひとみ
ヴァイオリン : 矢口十詩子
2014 年 8 月 16 日（土）14:00 開演
会場 : パルティセと 1F（瀬戸市栄町 45）
入場料 : 無料



モーツァルト 200 合唱団 第 23 回 演奏会

*来たれ、もろもろの民よ KV260
*交響曲第 41 番「ジュピター」KV551
*レクエム KV626 バイヤー版
指揮 : 三澤洋史
管弦楽 : 名古屋ムジークフェライン管弦楽団
独唱 : 飯田みち代 他
合唱 : モーツァルト 200 合唱団
2014 年 9 月 7 日（日）16:00 開演
会場 : 県芸術劇場コンサートホール
入場料 : 3000 円（一般）
1000 円（学生券・高校生以下）





第 30 回 瀬戸合唱フェスティバルに参加します

日時： 9 月 21 日（日）（本番 12 時 05 分）
場所： 瀬戸市文化センター 文化ホール
曲目： おぼろ月夜 『日本の歌による 5 つの合唱曲』（BOB CHILCOTT 編曲）より
紅葉
心に花を咲かせよう （神谷伸行編曲）

（全員合唱）藤四郎讃歌
花は咲く

服装： 後日お知らせします。

タイムテーブル

9 月 20 日（土） 《リハーサル》

18:50	瀬戸市文化センター リハーサル室 1 の前廊下集合
19:00～19:35	リハーサル室 1 にて練習
19:40～20:20	舞台にて練習
20:25～21:00	リハーサル室 1 にて練習

9 月 21 日（日） 《本番》

10:10	「瀬戸市文化センター 文化交流館」22 会議室前集合								
10:20～11:00	声出し								
11:00～11:50	食事、着替え <table border="0"><tr><td rowspan="2">〔</td><td>着替え室</td><td>男性：リハーサル室 3</td></tr><tr><td></td><td>女性：リハーサル室 2</td></tr><tr><td colspan="3">〕</td></tr></table>	〔	着替え室	男性：リハーサル室 3		女性：リハーサル室 2	〕		
〔	着替え室		男性：リハーサル室 3						
		女性：リハーサル室 2							
〕									
11:50	舞台裏下手側入口の廊下に集合（前の団体が演奏中です。お静かに！）								
12:05	本番 舞台下手から入場 舞台上手へ退場								
	本番終了後ロビーにて神谷先生、石川先生よりご講評をいただき解散								
13:20	全員合唱								

【注意事項】

- ・出演者は必ず「出演者用出入口」（お客様出入口の東 2 m 横）を通ってください。
- ・出演者は必ず「瀬戸市文化センター 北駐車場」を使ってください。



～第9回 演奏会を終えて～

■団員の感想文■

ソプラノ 波多野ユキ

第9回演奏会を無事に終えることができました。皆さんお疲れ様でした！

先生方ご指導いただきほんとうにありがとうございました。実行委員の皆様、未熟な委員長を支えてくださりありがとうございました。団員の皆様、あれやこれやのお願いに快く応じてくださり、ありがとうございました。影アナの山田さん、素敵な朗読をありがとうございました。SMの中島さん、すばらしい舞台指示の采配をありがとうございました。SSMの小坂さん、林さん、受付係の皆さんを引っ張って、観客の皆様を出迎えていただいてありがとうございました。調律の星野さん、DVDの鈴木さん、チラシ、パンフレットの印刷をしていただいた水谷印刷さん、受付をお手伝いいただいた瀬戸市民合唱団、瀬戸メサイア合唱団の皆さん、駐車場係の皆さん、ありがとうございました。差し入れをいれていただいた皆さん、ありがとうございました。記事を書いていただいた市広報、新聞社、合唱連盟などの皆さん、ありがとうございました。そして、細かい質問を、毎回丁寧に親切に説明してくださり、リハーサルや本番当日の突然なお願いにも、ニコニコと対応していただいた瀬戸文化センター・文化ホールの職員の皆さん、ありがとうございました。

660名の観客の皆さん、楽しんでもういただきましたね！整理券をご持参いただいた330名の皆さん、はがきをご持参いただいた37名の皆さん、アンケート書いていただいた291名皆さん、本当にご来場ありがとうございました。皆さんのおかげで、無事に旭混声合唱団第9回演奏会を終えることができました(*^▽^*)。演奏会を行うということは、本当にたくさんの人々の力で支えられているんだなあ・・・と、身にしみて感じます。

個人的には、ソプラノパートリーダー、サブ技術委員長でありながら、今回は歌詞が頭に入る率が悪く、特に第3ステージ(～～)。大好きなはずの「少年時代」や「いい日旅立ち」などは、小節ごとに接頭語を漢字で抜き出して覚え、揺れまくりの「川の流れ」は枕詞にして、それをつなげるように覚え・・・ええ！もちろん、楽譜には不思議なイラストを描きましたとも！・・・そのかいあって、本番での後悔はありませんでした(^_ ^)v。

次回第10回演奏会は2年後の予定！！(◎_◎;)まずは、「初心のうた」から頑張りましょう！

アルト 後藤せつ子

今回の演奏会は、とても気持ちよく歌い終えることができました。先回の演奏会の後、自分の声や歌い方は“これで良いのだろうか”と、ずっと悩んでいました。そんな時、毛利先生に個人でヴォイストレーニングをしていただけたことになり、いろいろ相談することができました。「永訣の朝」の低い声の出し方は、何度も練習していただき、何とか、ひっくり返らず安定した声で歌うことができるようになりました。「永訣の朝」に練習の重点を置きすぎ、第Ⅲステージの歌の歌詞を覚えきれないままだったことは反省しています。今回はソプラノの方に応援をしていただきました。有り難うございました。次からは高い声も安定して出せるよう練習します。

ベース 林 松男



7月20日と言えば学校も夏休みに入り真夏の最中、演奏会を聴きに来てくれる人があるのかなと心配していました。何と当日は爽やかな気温で、自然が味方してくれていると感じました。数日前から不安な気持ちが続きました。それは暗譜がしっかり出来ていないことからくるもので、もっとしっかり練習しておけばよかったのにと、反省しきりです。多少のミスはありましたが、全体的にみて上出来だったと自負しています。これも先生方のご指導のお蔭だと感謝しています。

聴きに来てくれた合唱経験豊富な友人は、「永訣の朝」の暗譜は大変だったね。よくやった。朗読も効果大で素晴らしかったと言ってくれました。

自分自身では前回よりも満足感が得られ、本当によかったと感じた次第です。二年後の創立30周年記念演奏会まで何としても頑張りたいと思っています。

アルト 松本恵美子

今回の演奏会はどのステージも好きな曲ばかりで、自分なりに思いを込めて歌うことができ、歌い終わったあと、愛する気持ちと充実感で一杯になりました。ロビーで聞きに来てくれた友人達や見知った人達が、次々と私を捕まえてとてもいい演奏会だったと褒めてくれました。早澤夫妻も東京から駆けつけてくれ、本当に嬉しかったです。打ち上げの時、輪になって歌う皆の晴れやかな顔を見て、心から私にとってかけがえのない大事な仲間達と歌えたことを嬉しく思いました。また今回は若い人たちが前面に出て活躍してくれ、混声の今後に明るい息吹きを感じています。

アンコールの「うたおうよ」が急遽決めた曲にもかかわらず好評で、一瞬意外！と思ったのですが、これは曲の持つ力だと思いました。しみじみと気持ちに入ってくる歌だからです。

神谷先生、石川先生、ありがとうございます。4半世紀以上混声に携わってきて、今歌うことを心から楽しんでいます。

アルト 中畑チズ子

今度は特に暗譜に苦労した。だが友人からの反応は感動して泣けてしまったなどすこぶる良い。誰もが親しめる宮沢賢治の、しかも普遍性のある愛と死のテーマが共感と呼んだのだろう。歌う側も感情移入し易かった。あと神谷先生編曲の歌は「心に花を…」が詩の良さと歌いこんだことで余裕もできた。「優しいことは強いこと」看病5年目の自分自身に、慈母観音とともに、言い聞かせている言葉でもある。「永訣の朝」はアルトが主役の所があり、力が入った。毛利先生のヴォイトレのお蔭で歌う楽しさが増えた。勿論難しさも。神谷先生はじめ石川先生、須田さん、皆さん懸命にご指導頂き本当に幸せ、感謝の言葉もないほど。波多野さん他皆さんいろいろご苦労様でした。

期間中、夫が肋骨を4本折り、夜寝られずへろへろだったが、共に乗り切れた。主人に刺激をと機会があれば外へ出かけている。その先々で情宣をして、かなり成果があった。勇気を持てば情宣もまだまだ「伸びしろ」があるように思える。情宣の相手が年代のいった人が多かった。もっと若い人にどう伝えるかが課題。

一度は合唱を続けられないと休んでいたが何とも寂しい。歌うことに癒され励まされ勇気を貰っている。これからも仲間と歌っていけたら最高。また打ち上げのビールのおいしさも。皆さん今後ともよろしく願います。

ソプラノ 谷口千賀子





先生方はじめ、皆さんお疲れさまでした。本番、自信を持って歌えたことは、ご指導のお蔭と心から感謝いたします。先生の選曲、全部好きです。

第 1 ステージ：暗譜することで、曲の流れが見えて響きを上にと心がけて気持ちよく歌うことができました。

第 2 ステージ：今までになく感情表現できたように思います。ステージ後に先生が“泣きましたね”の言葉で感動がよみがえりました。実は、急死されたある先生を思い歌いました。その御指導は、何才になっても楽に歌えるピリオド唱法です。今、とても役に立っています。

第 3 ステージ：歌謡曲を合唱で歌うのは難しいが、アレンジが良いので楽しく歌えました。いつまで歌えるか分かりませんが、チャレンジ精神を忘れずに。これからもよろしく願いいたします。

ベース 酒井敦智

今年の 2 月に復団し、タイミングよく第 9 回の演奏会に参加でき大変嬉しかったです。また、たくさんのお客さんに聞いてもらえ大変良い演奏会になったと思いました。

個人的には、息子と嫁と孫も聞きにきてくれ 第一声が「ピンクのシャツかっこよかったです。」と、歌ではないですが、好評だったのでホッとしました。衣装係りさんありがとうございました。

演奏についてですが、暗譜でなかったミサ曲は本番でも楽譜からなかなか目が離せず指揮についていなかったと反省しています。暗譜での 2 ステージは歌詞が覚えられず一番心配していましたが、本番では逆に気持ちが入りすぎて力み過ぎてしまいました。3 ステージ、暗譜は「OK。」と思っていましたが、ハミング部分がしっかり覚えられなかったところがあり反省です。しかし神谷先生の編曲も素晴らしく、馴染み深い曲で楽しく歌うことができ、旭混声の定番曲として良いレパトリーが増えたと思いました。

今回の演奏会ではあまりお手伝いができませんでした。次回の演奏会に向けては、練習とともにスタッフとしても何か貢献できればと思います。

テノール 酒井敏行

今回の演奏会に臨むにあたり、これほど緊張感に苛まれる日々を送ったのは初めてだと感じています。直前の数か月を含め、リハーサル、ゲネプロでの演奏など、およそ音楽づくりの主役である私たちの姿かと不安になったものです。ましてや会場で聴いて下さる皆様に“主体的に何がしかの思いを伝える気持ち”ありやと疑問に思ったりしました。そうした意味では、自分自身の取り組みを真摯に振り返り反省したく思っています。

はからずも聴いて下さった多くの友人たちの声は、要約すれば「素晴らしい演奏でした。とても感動しました。美しい歌声でなんとレベルの高い合唱団でしょう。」でした。この評価は、私たちの可能性を最大限引き出していただいた神谷先生のおかげだと思います。

私は思うのです。団内では「本番に強い旭混声」で満足してしまうのではと心配です。今一度、日常練習への取り組み姿勢など見直し、楽譜から離れて歌えるようにしたいものです。 神谷先生、石川先生、素晴らしい演奏会にさせていただき有り難うございました。

ベース 渡辺 理



パートリーダーの林さんはじめメンバーの方には、いろいろと教えていただきありがとうございました。また、指導に当たられた先生方や役員の方々にはお世話になりました。入団後2か月余りで舞台に立つことができとても感謝しております。

当日朝は、比較的冷静な気持ちで臨んだつもりだったのですが、この曲だけは絶対に歌いたいと思っていた「永訣の朝」の演奏で、力が入りすぎて途中から声が出なくなってしまいました。少し悔やまれます。愛楽曲は全部覚えきれず、結局第3ステージは2階席で見守ることになりましたが、気持ちよく聴くことができました。

旭混声合唱団は、合唱を愛する練習熱心な団員や専門家によるヴォイストレーニングなどもあり、かなりレベルの高い合唱団であると感じました。これからもできるだけ練習に参加するようにして、楽しみながら自らの合唱力を上げていければと思います。

ベース 佐竹 保

入団して足掛け10年、定期演奏会のステージに立つのは今回で4回目ですが、過去3回と違った内容の「苦楽」を共にした演奏会でした。今回は先生方々や実行委員の皆さんの早目の準備・仕掛けで、暗譜が順調に推移する筈の処、泣き言や言い訳はしませんが、何故か梃子摺ってしまい、先生方のご配慮で、第一部の暗譜容赦が自分としては大変助かりましたが、本番までは過去にない不安が付き纏っていました。そんな中で、来聴者の呼びかけを早目に広くできたこともあり、目の子算で30名近くの方が来聴してくださり、更に小6年生を初めとした孫達が、前日まで色好い返事がなかったのに、本番にはサプライズか、最前列に座りニコニコ・ニヤニヤと笑っている姿も見て、テンションが上がりお蔭様で曲りなりにも熱唱ができ、「やり遂げた後の充実感・達成感」は特別なモノがありました。これまでにご指導して頂いた先生方々・技術委員長・実行委員会皆さん達に、そして来聴者・家族の皆に感謝申し上げます。来聴者の感想を若干記すと、感想を貰った方の合唱への関心度のレベル差はありますが、次の通りです。

- ・「永訣の朝」は詩の朗読が入ったことで、歌詞がよく理解でき、宮沢賢治の想いが伝わった。
- ・愛楽曲集は自分の世代がよく知っている歌だったので、聞いていても楽しく未だに余韻が残っていて、心が豊かになったような気がする。
- ・音楽に余り関心がないので、聞いたことのない合唱を聴くことはどちらかというと退屈に感じる事があったが、今回は「心に響く歌」のサブタイトルにある通り選曲の良さも有ってまさに心響く歌声でした。また低俗な文化・訳の分からない歌が多い中で、美しい日本語で皆さんが紡いで歌い上げる合唱を聞いて、こんなにしなやかに感動を与えてくれる人たちがいるんだと思いました。
- ・アンコールの「花は咲く」を一緒に歌えたことも好感だった

その他にやはり合唱経験豊富な方は第一部・第二部への関心・印象が強かったようです。

ベース 近藤 進

私としては2回目の演奏会でした。前回は入団して1年のころでかなり不満足な演奏会でした。それで今回3年間練習を行い、満足のいく演奏会ができると思ったのですが、先生方に熱心に御指導していただいたにもかかわらず、やはり合格点が付けられませんでした。また次回に向けて練習をしていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



アルト 酒井富子

毛利美奈子先生のヴォイストレーニングはとても勉強になりました。今回の演奏会では少し自信もつき、自然体で歌う事ができ幸せ感あふれるステージでした。リハーサルでの反省を胸に秘め心を込めて歌いました。演奏会には、友人以外にもご近所の多くの方々へ声をかけ、私たち夫婦の生活の一部である旭混声合唱団を、又、大好きな素敵な先生方と仲間たちを紹介したくて誘いました。お聴きいただいた皆さんからの感想の一部を紹介します。

「指揮者と団員の気持ちが通じているのを感じるととても良い演奏でした」又、友人からの手紙では「どのステージもそれぞれに感動！素晴らしい響きに夫も共に酔いました。一言で言うて“大人”だと」「石川先生のピアノ独奏が是非聴きたい」「声がソフトで良かった」「全員合唱で『花が咲く』が歌えて良かった」会場に合唱経験のある人が多かったのでしょうか「すぐ隣でも良い声が聴けて楽しかった」と。先生がた本当に有り難うございました。

ソプラノ 森ゆき子

旭合唱団の演奏会に、始めて参加させて頂きました。暗譜をするのに毎日歌の練習をしたのは、始めてです。朝起きて犬の散歩にウォークマンを付けて小さい声で歌っていたのですが、散歩をしている人に聞こえてしまい、歌の練習ですかと声をかけられてしまいました。演奏会の案内もしておきました。出勤前に歌い車の中でもCDを聞き歌い、夜寝る前にも練習をしました。演奏会の1か月前頃まで以上の練習をして本番に臨んだのですが、完璧に暗譜できませんでした。

演奏会当日になり、気になって朝早く目が覚めてしまいました。本番前の練習で足が疲れてしまい、本番では大丈夫だろうかと心配になりました。ミサ曲でKyrieでは緊張していて、うまく歌えなかったのですが、徐々に落ち着いてきました、間違えないようにと必死でした、少し観客席を見る余裕がありました。表情に笑顔をつくる余裕はありませんでした。

演奏会が終わり、本当にほっとしました。舞台の上で何曲も歌を歌うのは初めてで観客席に来て頂いた友達に会って、歌い終えた達成感からなのか、お互いに涙がでてしまいました。演奏会終了後、家に帰りどっと疲れがでてしまいました。毎日歌を歌っていたので、歌は日常の生活に欠かせなくなりました、演奏会を終えて歌を選んで良かった。旭合唱団で皆様の、お仲間に入れて本当に良かったと思います。

神谷先生、石川先生他皆様にご指導を受けて感謝しております、今後共よろしく願います。

ベース 近藤新二

旭混声合唱団に入れていただいてからちょうど1年近くになります。40年以上合唱から離れていたので、ついていけるのか最初は心配でした。それでもなんとか定期演奏会のステージに立たせていただけたのは、車いすの私を実行委員の皆様、林パートリーダーさんや、橋詰さんたちベースの方たちが、練習も含めいろいろな場面でお気遣いや、助けてくださったおかげだと思っています。ありがとうございました。

今回の定期演奏会では久しぶりにいい意味での緊張感をもって歌わせていただきましたが、技術的な面では声も満足に出せなかったり、音程・リズムで曖昧な部分があったり、暗譜も完璧でなかったり、反省することばかりです。もし、次回定期演奏会に立たせていただけるなら、これらの反省を踏まえ、もっと努力し、演奏会前でも少しは寝つきが良くなるようにしたいと思っています。今後ともよろしく願います。



ベース 松本義明

素晴らしい演奏会でした。第8回の演奏会、2011年10月30日から2年9ヶ月で3ステージを前回より高いレベルで達成出来たと思います。「旭混声ブラヴォー！」です。それは演奏会へ向かう合唱団の色々な場面で感じられました。女声パートは練習後、その日の問題点や課題についてパートでの話し合いや、追加練習をしたり、アルトの数名の方々が自発的にヴォイトレの個人レッスンを始められたとも聞きます。ソプラノでも練習後にその日の課題を「おさらい」している姿をたびたび目にしました。我がベースも「予習をして練習に臨む」姿勢へとの変化がみられ大きな進歩だと思います。これまでの単なる暗譜の練習とは、一味違った積極的な意味を感じました。

私自身、合唱が出来る事の真の意味を考えないで来た事、自分にとってはたとえ趣味とはいえ、合唱団を支えるため多くの仲間や、指導者の方々のお蔭で初めて可能である事に思いが至らず、長い間練習もしないで平気で練習日に臨んでいたことを「恥ずかしい」「申し訳なかった」との思いに駆られました。団員が夫々の自己目標を持って、努力する合唱団が、真に自主的合唱団であると気が付きました。今回の演奏会に向かう旭混声の姿には、確かにその一面を垣間見た思いがします。私も練習日前には一応楽譜に目を通し、声を出して臨みました。その結果、素晴らしい演奏会で積極的に歌うことが出来ました。特にパレストリーナの MISSA BREVIS を自分では余裕を以て“歌った”と感じています。衰えを実感する日々ですが、次の演奏会までは何とか歌い続けたいと思っています。

ベース 近藤鉦太郎

僕にとって混声での初めての演奏会でした。ミサ曲も初めて、本番一週間前になって暗譜不完全、試験前の気分で行いました。ミサは見譜にして頂き、おかげで他の曲が暗譜出来たのかもしれませんが、ミサの演奏会の出来はやはり不完全でした。自己採点では70点ぐらいか？ポリホニーは和音を楽しむものなのでしょうが、譜面と指揮に全神経がいき、他パートが入ってきませんでした。苦勞しても暗譜で、お客さんも自分も楽しめるようにしなければ、と反省です（記憶力は加齢で低下するし、次回は2,3年後だし言葉に責任が持てません）。

僕のお客さんの殆どの人から「良かった。」の言葉をいただきました。「永訣の朝」に感動したとメールをくれた人もいました。リップサービスを割り引いても好意的な感想でした。

ソプラノ 藤田美左紀

いろんな意味で、できればもう一回全曲歌いたいです…。

ソプラノ 藤田邦江

ずっと、先だと思っていた7月20日。舞台経験は3回しかなく、リハーサルですらすごい疲労感でした。さあ、本番。もう逃げられないと思い舞台にあがりました。知り合いが来ているかと客席を見ましたが、分かりませんでした。練習中は、一曲一曲が、長かったにも関わらず、本番ではあっという間に曲が流れて行き、必死に曲に乗っかってる感じでした。上手く歌えたかどうかは分かりませんがプレッシャーから解放され、飲むぞ～！（お茶）食うぞ～！という感じでした。音楽的な感想が出来なくて情けないですが、2年後の発表会にはもっと堂々と出場し歌の感想も沢山書けるよう努力したいと思います。そして7月21日、もう「初心のうた」を練習している私は、本当に合唱が好きになった事を実感しています。





テノール 林 丁三

予報に反して快晴、そして予想に反して好演。遠路駆けつけてくれた古いコーラス仲間たちの超好意的な感想、演奏会後の盛り上がり、一種トランス状態の一夜が明けた。頭に残っていたのは何か？ 麗しきピアニストの一言「間違えても、くよくよしない・・・」 そうだ！ 合唱を楽しむことにしよう。そのために何が出来るか？ 何をするか？ 心から楽しむためにやれることを一つずつ・・・なんて考えてみた。

課題の一つは正しい音程。純正律は理解不能の領域として平均律の音程の維持すら身体全体に神経が行き渡らず数セントがずれる。このもがきの中で、〔音痴〕ではないかと悩む羽目になる。これでは楽しめない。どうか！ 我らが宝物の超弩級の耳には悪いが、今しばらく（寿命があるかぎりかも？）至らない響きをお許しいただきたい。

課題の二つ目は明るい発声。こもりがちの声を指摘されて久しく<ボーチェ デ フィンテ>などいろいろ試みるも我流のため日々試行錯誤。生来の壁を乗り越えるのは至難のことか？ ただし、この試行錯誤が、暇だらけのこの身にとっては結構な暇つぶし。結局、何事も改善できず気持ちだけの線香花火になりそう。しかしながら今回の楽しく充実した演奏会に乗じて、身勝手な宣告ながら『今後もご迷惑をお掛けします』。

ベース 佐久間一郎

私にとっては、今回のような定期演奏会は初めてでしたので、少々緊張しました。衣装替えもあり、時間配分などどうなる事かと思っておりましたが、問題なかったようです。アカペラだけは楽譜を持つての演奏でした。たしかに暗譜での演奏は練習と習熟の結果としてのものであり、これに代わるものはないでしょう。次回はさらに練習を積んで暗譜の演奏を増やすよう自分も努力したいと思います。演奏のお客さんも600人を超える盛況で、とてもうれしく感じました。

ベース 橋詰 喬

おつかれさま。評判良かったですね。達成感に加えて打ち上げでの気分は今も続いています。

今回、練習では随分苦しみました。自分の音階は一応マスターしたのに、コーラスになると狂い始めるのです。先生の指揮が唯一の頼りでした。少々焦りを感じながら、本番前夜の舞台練習で、やっとベース本来の存在感を自覚することが出来ました。先生の「お互いに聴き合え」を実感できた瞬間です。当面のテーマになりました。

それから団員の皆様、当日の来場者数UP！ ご苦労様でした。感謝してます。

ソプラノ 岩本 純子

今回はわたしには、ちょっとビミョーな演奏会でした。私事ですが、4月からしんどい職務となり、毎日大声をはりあげていましたので喉がかれかれで、毎日帰宅後も仕事の宿題があって、肉体、精神ともへろへろでした。3月までののんびりした生活とは全く違い、毎日追いつめられていました（夏休みの今は天国です）。歌のことを考える（思い出す）のは練習中のみでしたので歌い込んでいる感じが全然なく、不完全燃焼って感じです。

聴きにきてくれた3人のベース（ひとつ上、同年、ひとつ下）は「よかった。」と言ってくれましたが、「ソプラノには上手な人が2人くらいいるでしょ。」とか「岩本の声が分かった。」とか言っているということは、ソプラノの声がまとまっていなくてことですよ？ 次回への課題だと思います。



アルト 大栗 耐子

演奏会を終え、とても幸せな気持ちで歌えた事を嬉しく思います。家族、友人に見守られる中で思いきり歌えた喜び、仲間と一緒に作り上げていく喜び、演奏会が近づいてくる緊張感の中で皆の気持ちと歌が一体となった時のゾクゾク感等、歌を続けてきたことへの喜びでいっぱいです。前日のリハーサルでは実力が発揮できず一時不安にもなりましたが、本番に強い我が団、大丈夫！と言い聞かせました。が、先生の寿命をかなり縮めてしまったようです。「ごめんなさい！」

友人からは、「自分の人生に重ね合わせ、スッと歌に入れた。」「歌の力の素晴らしさや、先生と団員が一丸となって歌い上げた『永訣の朝』は一生懸命さが伝わり、感動をもらった。」等の言葉をもらいました。好評でした。おかげさまで、とても美味しいお酒となりました。

最後になりましたが、各先生方のご指導に感謝申し上げます。実行委員長はじめ運営委員の皆様にはいろいろご配慮いただき、ありがとうございました。

ソプラノ 林 優美子

代替わりして下さった役員の皆さんの努力で無事演奏会が終わりました。折にふれ励まされ、楽しい数時間でした。

個人的には、いまひとつ体力が続かず、ピッチを下げたり、息漏れを感じたり、ヴィブラートの問題があったりして申し訳なく思っています。その上ドライマウスで口が開きづらかったり、反対に閉じづらかったりで、本来ならば在団すること自体いけないのかもしれませんが、でも、週一回皆さんにお目にかかる楽しさと、数年前より強くなった自分があり、もう少し先生のご指導を受けたいと思うようになりました。

今回の演奏会の反省点としては、各パートが独自で出る瞬間、とまどい引いてしまう自分がいて、それが自分だけではないことも知って、これは聴いている方にはどう伝わるのだろうと思いました。

ソプラノ 若杉 佳代

入団して18年、6回目の演奏会で初めて実行委員となり演奏会を迎えました。演奏会開催に向けて団員の方々が細部にわたって、又、自分の時間を使って活動していただけたことに感謝です。リハの日、いつもサプライズを用意して緊張をほぐしてくださる神谷先生、私達が帰った後もピアノを弾いていたひとみ先生、早々にシャンパンとメッセージカードを送ってくださった毛利先生ご夫妻、恵まれたなかで大好きな歌が歌える私！幸せです。ありがとう。

アルト 吉原 直子

舞台下手でスタンバイして本番を待つ私たちに。会場のモニターで写る赤い席が埋まっていくのが見えて嬉しかった。歌う意欲が湧いてきた。

5か月ほどの空白があった私にとって、「覚えられるだろうか。」「やっぱり歌いたい。」との心の葛藤の日々でした。曲のCDを酒井さんから戴いた時は天にも上る思いだった。

練習するなか、「永訣の朝」の詩を読んでいくうち、「この『あめゆじゅ』（みぞれや冷たいもの）が死別していく人にどうして『食べたい』と望まれるのか？」と思い、別れてきた人たちのことを、ふと思い出すことがあった。美しい曲に乗り、それぞれの思いが重ね合わせることが出来たならば幸せに思う。

第3部も味わいのある曲ばかり。心が温かく、なごやかになった。



アルト 橋詰 ひろみ

「永訣の朝」暗譜になってよかったです。練習の時も楽譜を見るのが一層丁寧になりました。

本番ではピアノ、関連するパートの声もよく聞こえ、先生の指揮もよく見えました。皆さんの集中力がすごく、私もそれに乗って歌えた気がします。

ソプラノ 植村 尚子

今回の演奏会で私はまた飛び出してしまいました。皆様にたいへんご迷惑をお掛けしました。ほんとうに申し訳ありません！他に言葉はありません。ただひとつだけ、「永訣の朝」に出会えてよかった！この2年間ずっとそう思って過ごしてきました。

◇感想が届いています◇

毛利美奈子先生より

演奏会ご成功、おめでとうございます！

さすが皆さん、本番まで実力を温存して臨み大成功に導かれたご様子、素晴らしいです！神谷先生の導きのもとレベルアップ出来た本番だったようで、是非お聴きしたかったです。

今後も良い音楽を作るお手伝いをさせていただけたら私も嬉しいです。

お疲れ様でした！

女声アンサンブル「ヴォーチェ・アミーケ」元在籍の方より（sop.須田さんの知人）

お疲れ様でした～(^-^)。とても丁寧に歌に取り組んでいる団ということが良くわかる演奏会でした。パートごとに声がまとまっていて良かったです。言葉も歌詞を見なくても良くわかりました。

合唱浪人中の私は、とても羨ましかったよ～。そろそろどこかの団に入ろうかなあ～！歌はいいよねえ～(^-^)



旭混声合唱団の”楽楽日和”より ～sop.須田千賀子さんのブログです～

- 2014.07.21 Monday
- 終わった～！

それぞれが自分の役割分担を目いっぱいがんばった2日間。

ただ、リハとゲネプロでの神谷先生の今までにない怒り🔥に技術系の責任者として叱られているようで（笑）身が縮む思いで迎えた昨日の本番。毎回恒例の先生からのサプライズにもみんな歓声。今年のキーワードは「み・や・ざ・わ・け・ん・じ」





なんと天気も演奏も不安はなんのその、
ほぼ今の団の精一杯の力を発揮できた
演奏会になりました。

皆が必死になんとかしよう！との
直前までのモチベーションの上げ方が
きっと功を奏したのでしょう。

打ち上げも満面の笑みがあふれる会
となりました。

いろいろなスタッフとお酒を酌み交わし
ていると、皆さんそれぞれにいろいろな
ことを抱えつつ、本番に臨んだことを知りました



私自身も本番の出来のよさに安堵したことと
今までにいろんなことと闘ってきた6年間、
特にこの1か月が走馬灯のように蘇り、なんだかとんちんかんな挨拶となり、
イカンイカンと反省中。

でも、終わってみて阿川佐和子の人生訓ではないですが（笑）
「反省はするが後悔はしない」

ある意味 一石を投じる役目を果たせたのではないかな？と思って
2016年の記念演奏会に向けて新しいスタッフの活躍を楽しみにしています。

神谷先生、ひとみ先生、毛利先生ご夫妻、ひやひやドキドキの私たちを
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

皆さん、お疲れ様でした、そして ありがとうございます。





●地域情報誌に掲載された演奏会の案内記事



広報おわりあさひ No.1254 7/1

旭混声合唱団 演奏会

●問い合わせ先
旭混声合唱団 若杉
TEL.53-6415

- とき 7月20日(日)午後2時
開演(1時30分開場)
- ところ 瀬戸市文化センター
文化ホール
- 内容 県合唱連盟に所属し
市内を中心に活動している混声
合唱団の演奏会。曲目「永訣の
朝(宮沢賢治)」など
- 費用 無料

合唱連盟発行「ハーモニー」春号(4月)

20(日) 13:30 ~ いずみホール(大阪) P97
大阪混声合唱団 第28回定期演奏会
14:00 ~ 瀬戸市文化センター 文化ホール(愛知)
旭混声合唱団 第9回演奏会
21(祝) 13:30 ~ 福島県文化センター(大) (福島)

合唱連盟発行「ハーモニー」夏号(7月)

又戸合唱団「ハーモニー」第11回演奏会

20(日) 13:30 ~ いずみホール(大阪)
大阪混声合唱団 第28回定期演奏会
14:00 ~ 瀬戸市文化センター 文化ホール(愛知)
旭混声合唱団 第9回演奏会
14:00 ~ 富田林市すばるホール(大阪)
とんだばやし混声合唱団 第18回定期演奏会

中日新聞地域情報誌「ショッパー」
vol.673 7/17

瀬戸市を中心に活動する旭混声合唱団が、7月20日(日)に「第9回演奏会」を開催します。瀬戸市文化センター(同市西茨町113・3)文化ホールで午後2時~4時ごろ(開場は同1時30分)。宮沢賢治作詞の混声合唱曲「永訣の朝」をはじめ、「MISSA BREVIS」「少年時代」など多彩な曲で楽しませてくれます。入場無料で予約不要。定員1500人。問/同団の若杉佳代さん(電話0561・53・6415)

イベント
歌う喜びに満ちた
男女混声の美しい調べ

「中日ホームニュース」瀬戸・尾張旭・長久手版 7/11

旭混声合唱団の第9回演奏会が20日、瀬戸市文化センターで開かれ、午後2時開演。入場無料。創立28周年を迎える同団は尾張旭近郊の30~70代の約40人で構成。クラシックから現代の名曲まで多彩なレパートリーをこなします。演奏会には全3部。1部は同団定番の「ア・カペラ宗教曲」から始まり、

宮沢賢治「永訣の朝」ほか演奏
20日・文化センターで旭混声合唱団



多彩なレパートリーをもつ旭混声合唱団

瀬戸市文化センター催物案内

2014年

瀬戸市文化センター/美術館

7月催物案内

文化ホール

7月の休館日 7月8日(火)

日	催物名	開演	入場料	問い合わせ先
20日(日)	第9回 旭混声合唱団演奏会	14:00	無料	旭混声合唱団(若杉) TEL.0561-53-6415
24日(木)	愛知県吹奏楽コンクール	24日 9:40	前席 400円	愛知県小中学校吹奏楽連盟



2部では宮沢賢治が最愛の妹トシ子と別れを詠んだ「永訣の朝」の演奏と、初の試みになる詩の朗読で宮沢賢治の世界を紹介。3部では指揮者神谷伸行さんの編曲による「少年時代」、「心に花を咲かせよう」など誰でもよく知っている歌を集めた「愛唱歌集」で締めくくります。同団では「肩の凝らない雰囲気を楽しんでもらえたら」と来場を呼び掛けています。問い合わせは ☎(53) 6415 若杉さん。